

岡山県の地震

令和8年(2026年)7月

目 次

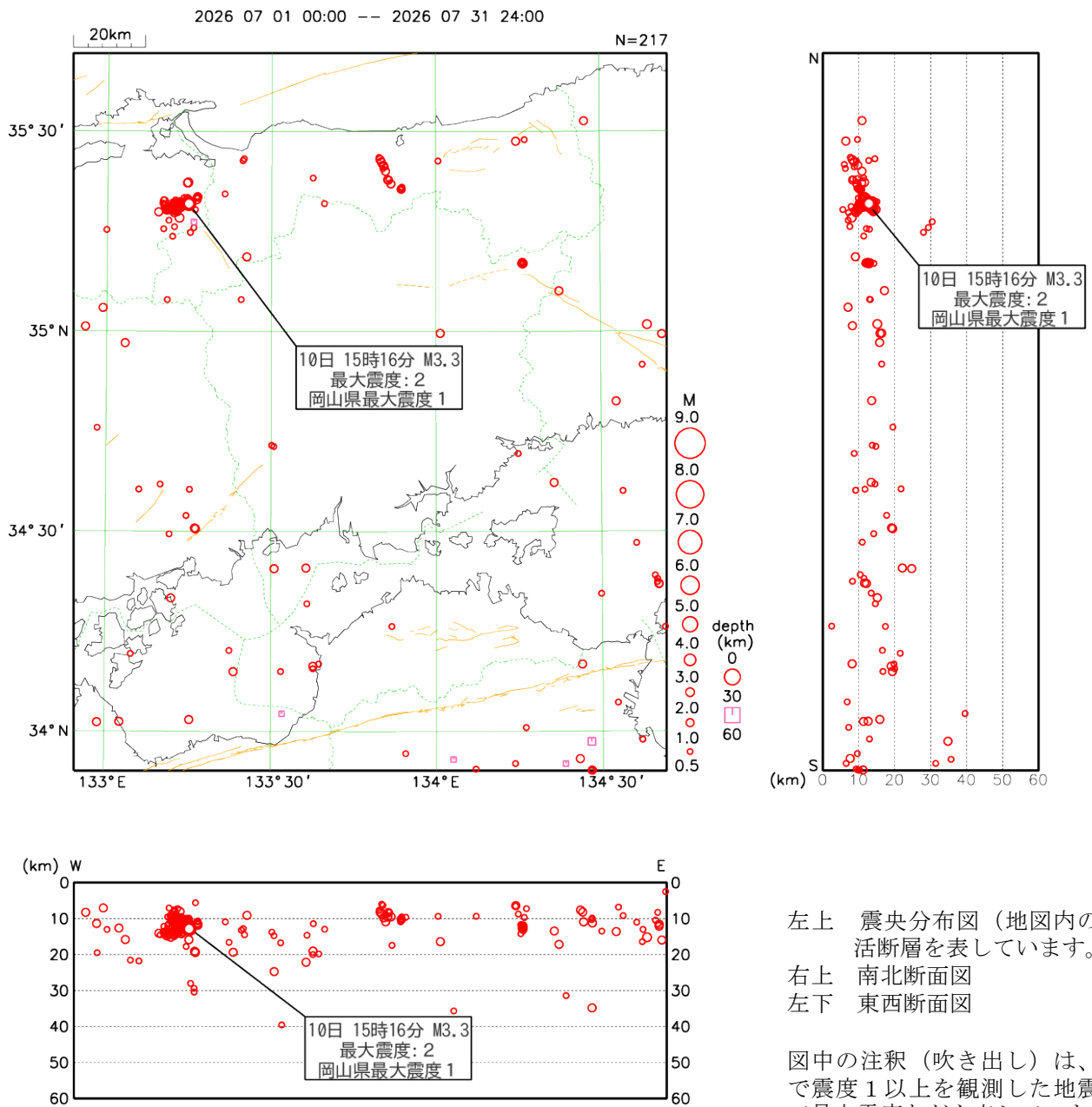
○岡山県及びその周辺の地震活動（7月）	
震央分布図及び断面図	… 1
概 況	… 1
岡山県において震度1以上を観測した地震の表	… 2
岡山県において震度1以上を観測した地震の震度分布図	… 3～4
○地震防災メモ No.247	
火山噴火で発生する気圧波による津波	… 5

- 「岡山県の地震」は、月1回発行し、岡山県及びその周辺の地震活動をお知らせするとともに、適宜、社会的関心の高い地震について解説します。また、「地震防災メモ」により地震、津波に対する防災知識の普及等に努め、皆様のお役に立つことを目的としています。
 - この資料の震源要素、震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。
 - 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。
- また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

岡山地方気象台

岡山県及びその周辺の地震活動(7月)

震央分布図及び断面図



概況

・7月に岡山県で震度1以上の揺れが観測された地震は3回(前月:1回)でした。

岡山県において震度1以上を観測した地震の表(7月)

2026年07月09日21時58分 和歌山県南方沖		33° 17.8' N 135° 02.9' E 25km M4.7
----- 地点震度 -----		
岡山県	震度 1 :	倉敷市真備町*, 倉敷市児島小川町*, 倉敷市水島北幸町*, 倉敷市玉島阿賀崎*, 倉敷市船穂町*, 笠岡市笠岡*, 早島町前潟*, 里庄町里見*, 矢掛町矢掛*, 瀬戸内市邑久町*, 瀬戸内市長船町*, 赤磐市上市, 浅口市金光町*, 岡山北区桑田町, 岡山中区浜*, 岡山東区瀬戸町*, 岡山東区西大寺南*, 岡山南区片岡*, 岡山南区浦安南町*

2026年07月10日15時16分 島根県東部		35° 19.1' N 133° 14.8' E 13km M3.3
----- 地点震度 -----		
岡山県	震度 1 :	新見市哲西町矢田*, 真庭市禾津*

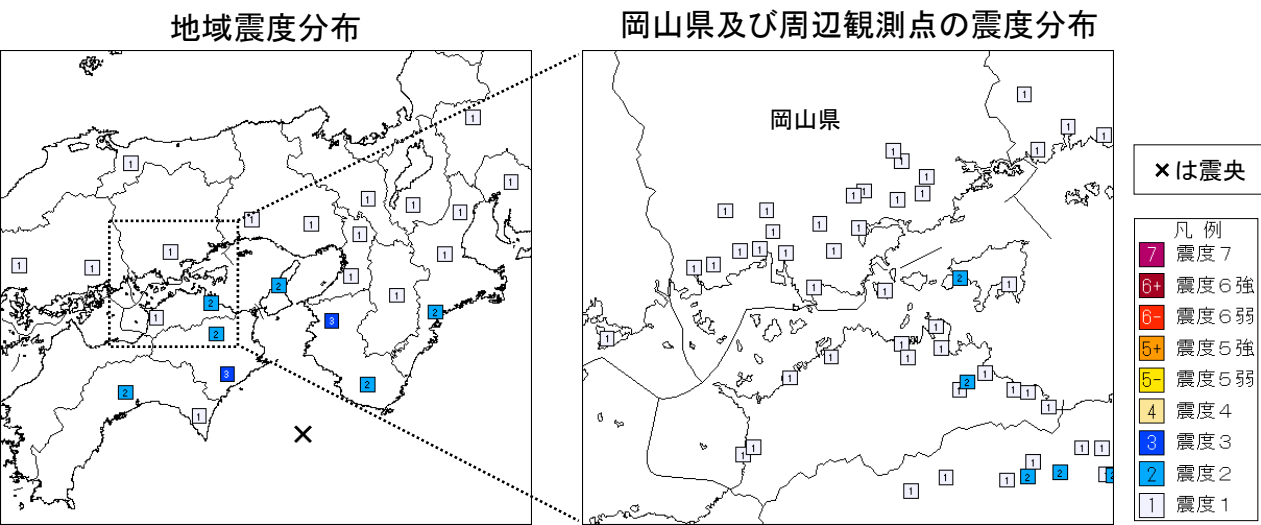
2026年07月28日16時27分 熊本県熊本地方		32° 37.5' N 130° 40.7' E 16km M7.1
----- 地点震度 -----		
岡山県	震度 3 :	真庭市蒜山下福田*
	震度 2 :	真庭市蒜山上福田*, 倉敷市児島小川町*, 倉敷市水島北幸町*, 倉敷市玉島阿賀崎*, 倉敷市船穂町*, 早島町前潟*, 里庄町里見*, 赤磐市上市, 浅口市金光町*, 岡山南区片岡*, 岡山南区浦安南町*
	震度 1 :	真庭市禾津*, 真庭市久世*, 倉敷市新田, 倉敷市沖*, 倉敷市真備町*, 笠岡市笠岡*, 備前市伊部, 和気町矢田*, 矢掛町矢掛*, 瀬戸内市邑久町*, 瀬戸内市長船町*, 浅口市天草公園, 浅口市寄島町*, 浅口市鴨方町*, 岡山北区桑田町, 岡山中区浜*, 岡山東区瀬戸町*, 岡山東区西大寺南*

注) 1 内容は暫定値であり、後日再調査のうえ、修正されることがあります。
なお、地震データの確定値は『気象庁地震・火山月報（カタログ編）』に掲載されます。

2 地名に*印を付したものは、岡山県又は防災科学技術研究所の震度観測点によるものです。
なお、震度は気象庁震度階級表によるものです。

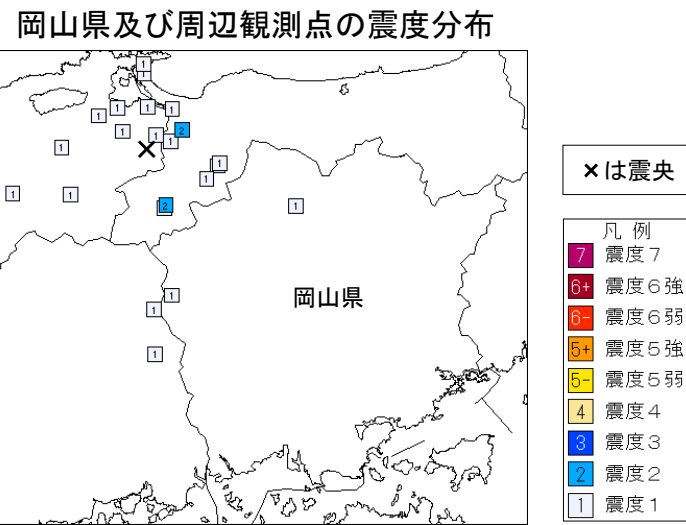
岡山県において震度1以上を観測した地震の震度分布図(7月)

2026年7月9日21時58分 和歌山県南方沖の地震



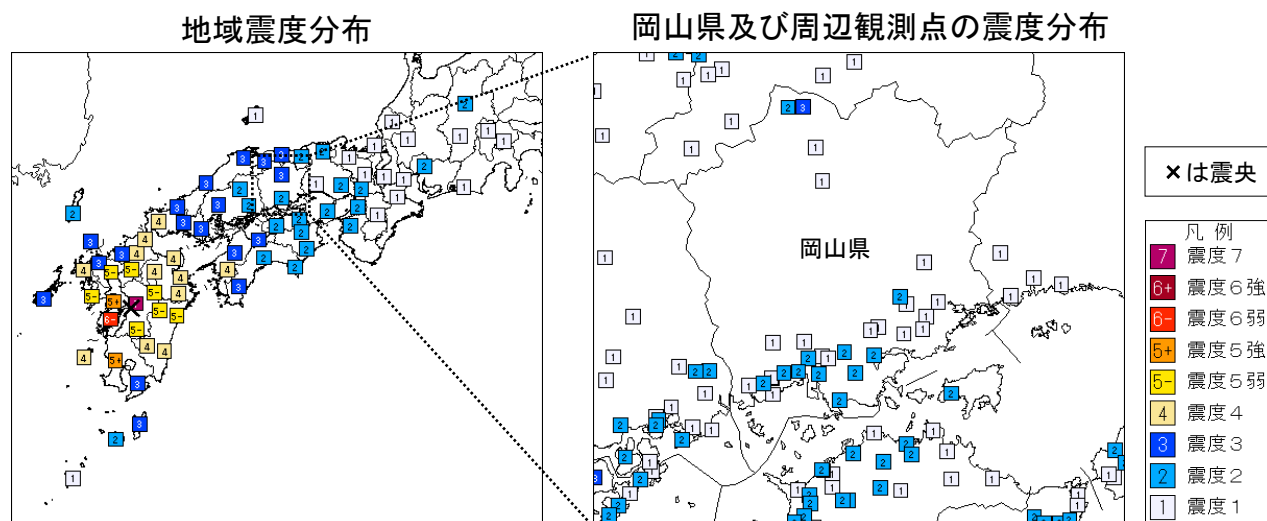
＜地震の概要＞
9日21時58分 和歌山県南方沖の地震（深さ25km、M4.7）により、和歌山県御坊市・みなべ町、徳島県美波町で震度3を観測したほか、東海・近畿・中国・四国地方にかけて震度2～1を観測しました。岡山県では浅口市、岡山市、瀬戸内市などで震度1を観測しました。

2026年7月10日15時16分 島根県東部の地震



＜地震の概要＞
10日15時16分 島根県東部の地震（深さ13km、M3.3）により、鳥取県日南町・南部町で震度2を観測したほか、鳥取県、島根県、広島県で震度1を観測しました。岡山県では新見市と真庭市で震度1を観測しました。

2026年7月28日16時27分 令和8年熊本地震



<地震の概要>

28日16時27分 熊本県熊本地方の地震（深さ16km、M7.1）により、熊本県宇城市・氷川町で震度7を観測したほか、東海・甲信・北陸・近畿・中国・四国・九州地方にかけて震度6強～1を観測しました。岡山県では、真庭市で震度3を観測し、そのほか広い範囲で震度2～1を観測しました。

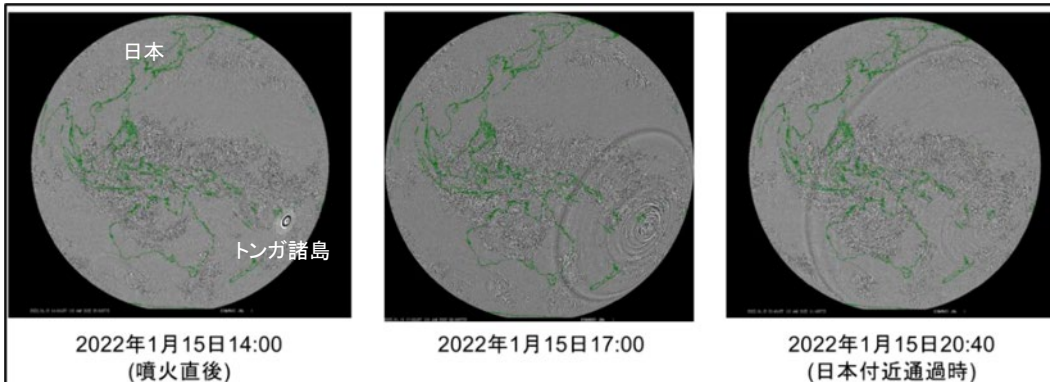
気象庁はこの地震の名称を「令和8年熊本地震」と決めました。また、「令和8年熊本地震」の詳細については、気象庁ホームページの「[令和8年熊本地震 ポータルサイト](https://www.jma.go.jp/jma/menu/20260728_kumamoto_jishin.html)」（https://www.jma.go.jp/jma/menu/20260728_kumamoto_jishin.html）を参照願います。

火山噴火で発生する気圧波による津波

津波は海域で発生した地震に伴い発生することが多いのですが、まれに、火山噴火活動による山体崩壊や、2022年1月15日のフンガ・トンガーフンガ・ハアパイ火山の噴火（以下、「トンガ諸島の噴火」という。）の際のように、爆発的な噴火で発生した大規模な気圧波（急速な気圧の変化の波）によって発生する場合があります。今回はこのような津波について解説します。

○トンガ諸島の噴火及び日本国内で観測された津波の概要

トンガ諸島の噴火は噴煙高度が約16,000mに達する大規模噴火でした。この噴火に伴う気圧波が同心円状に地球規模で伝播する様子は気象衛星ひまわりで観測されました（下図）。



気圧波伝播の様子：
気象衛星「ひまわり」
衛星画像
※時刻は日本時間
（火山噴火等による
潮位変化に関する情
報のあり方（報告書）
図表集より）

この気圧波が日本に到達するのと時を同じくして、各地で潮位変化（津波）が観測され始め、鹿児島県の奄美市小湊で最大の高さ134cmを観測したほか、太平洋側を中心に、日本海沿岸、瀬戸内海沿岸、オホーツク海沿岸と、全国津々浦々の観測点で観測された（右図）ことから、これはトンガ諸島の噴火に伴う気圧波による津波と推定されました。この津波では、船の転覆・沈没等30隻等の被害が発生しました。

○気圧波による津波発生メカニズム

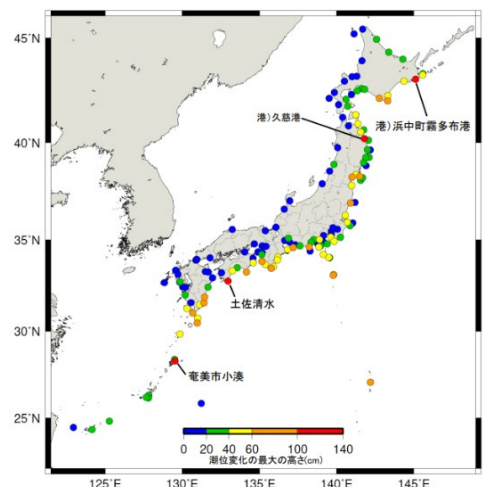
地震による津波は、海底の上下に伴い海水が海面まで上下し伝播するのに対し、気圧波による津波は、基本的には大気圧の変化により海面が上下しその下の海水が上下して伝播するものですが、詳しいメカニズムはわかっていません。そのため現状では詳しい予想は困難です。

○気圧波による津波に対する津波警報等の発表

気圧波による津波に関しても気象庁は津波警報等を発表しますが、詳しい予想が困難であることから、国内で津波を観測した後に観測値に基づいて発表します。ただし、津波警報等が発表された場合の取るべき行動は、地震に伴い発生する津波の場合と同様です。

詳しくは以下の気象庁ホームページ「地震や火山現象等に伴い発生する津波」をご覧ください。

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/tsunami/various_causes.html



トンガ諸島の噴火に伴い国内で観測された津波の最大の高さ

【8月26日は「火山防災の日」です】

以下の気象庁ホームページ「火山防災の日」特設サイトでは、火山災害や火山防災などについて詳しく案内しています。「火山防災の日」をきっかけに、火山の魅力・恩恵やその危険性を正しく理解し、火山災害に備えましょう。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/filing/kazanbosai/index.html>